

# エコアクション21

## 環境経営レポート

(2023年1月～2023年12月)



黒須建設株式会社

作成日 2024年3月12日



認証番号 0006271

## 目 次

- 1．環境経営方針
- 2．組織の概要（実施体制図を含む）
- 3．環境経営目標
- 4．環境経営計画の取組結果とその評価、  
次年度の取組
- 5．環境負荷の状況
- 6．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価  
の結果ならびに違反、訴訟等の有無
- 7．代表者による全体の評価と見直し結果

# 1. 環 境 経 営 方 針

黒須建設株式会社は、土木・建築工事を主体とした建設業です。

『常に堅実性に重点をおき、技術の革新と創造に挑戦し、社業の発展を通じて社会に貢献する。』を経営方針とし、日々事業を行っております。工事を行う上で、地球の環境にさまざまな影響を与えていることは否定できません。その様な中で当社は、社員一人一人が社会的責任を自覚し、法令順守を徹底するとともに、環境に配慮して地域社会への貢献を致すべく、環境経営の継続的な改善を行うために、以下の通り取り組みます。

- ① エコアクション21に基づき環境マネジメントシステムを構築運用し、積極的に環境負荷の軽減に努めます。
- ② 各職場において環境の保全、汚染防止に努めるとともに、CO<sub>2</sub>排出量、廃棄物の削減を推進します。
- ③ 省資源、省エネルギーの推進に努めます。  
(化石燃料・電気・コピー用紙・水等の使用量の削減)
- ④ 環境関連法規を遵守します。

制定日 2009年12月22日

改定日 2018年4月2日

改定日 2020年2月1日

黒 須 建 設 株 式 会 社

代表取締役 黒 須 光 隆

## 2. 組織の概要

- ① 事業所名及び代表者氏名  
黒 須 建 設 株 式 会 社 代表取締役 黒須 光隆
- ① 所在地 東京都八王子市元横山町一丁目29番12号
- ② 環境管理責任者及び担当者  
環境管理責任者： 取締役総務部長 小 杉 武 志  
環 境 担 当 者： 取締役土木部長 遠 藤 政 章  
事 務 局 ： 取締役総務部長 小 杉 武 志
- ③ 連絡先 TEL 042-642-5331 (代表)  
FAX 042-642-5314  
<http://www.kurosu-kensetsu.com>  
[e-mail:soumu@kurosu-kensetsu.co.jp](mailto:soumu@kurosu-kensetsu.co.jp)
- ⑤ 事業内容  
建設業許可番号 東京都知事 許可(特-2) 第19056号  
許可の有効期限 令和2年11月11日から令和7年11月10日まで  
橋梁、河川、上下水道、造成等の一般土木工事。舗装、造園工事等の設計施工。  
鉄筋、鉄骨、木造等の建築工事の設計施工。リフォーム工事。解体工事。
- ⑥ 資本金・設立年月日  
資 本 金 1億円  
設立年月日 昭和23年12月13日
- ⑦ 事業規模  
完成工事高 37億4,900万円 (2023年度)  
従 業 員 数 37名  
事務所床面積 鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建  
延床面積 722.73㎡ (2階自宅部分含む)

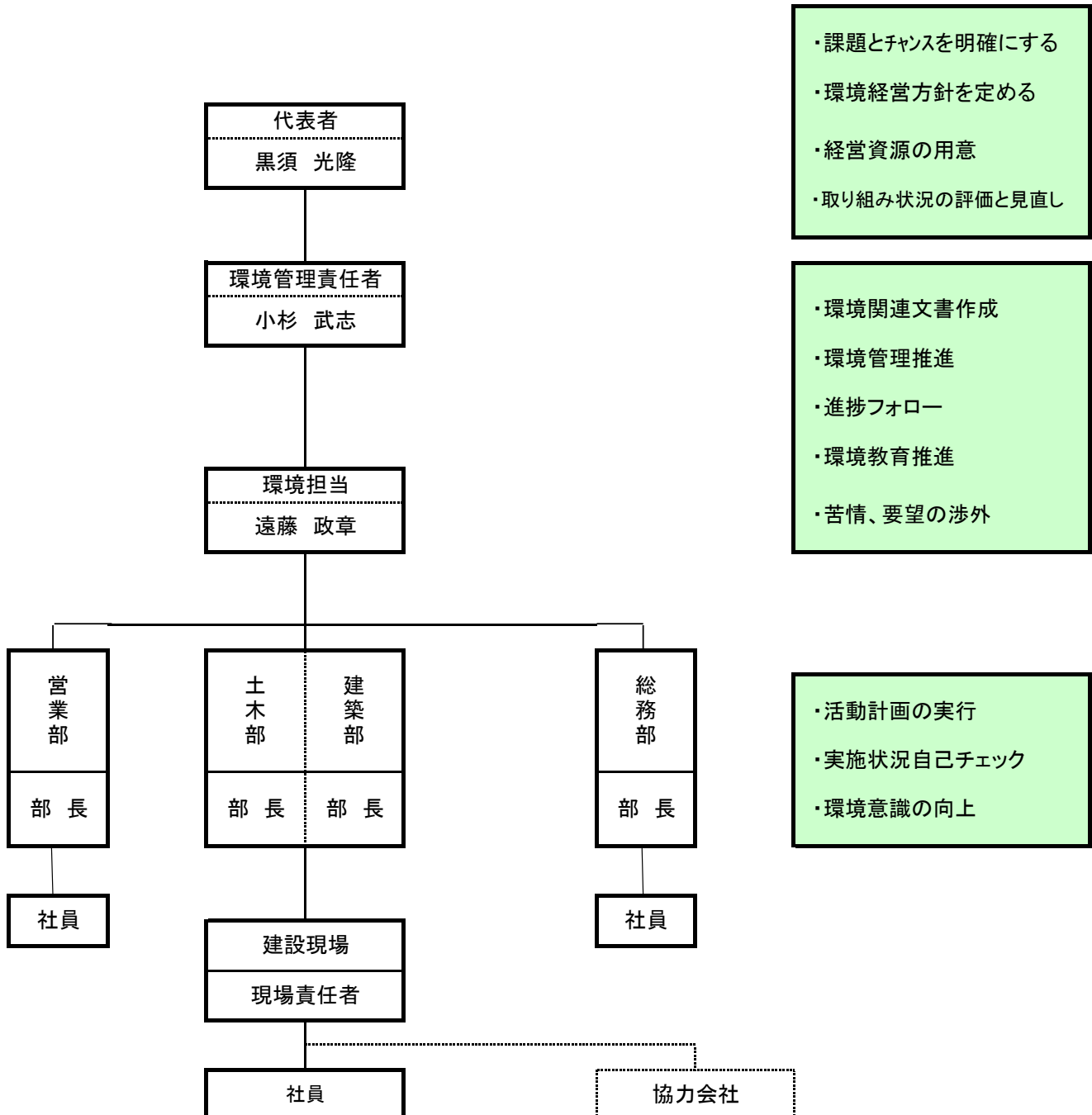
## ⑧ 環境管理 ・ 実施体制図

令和 6年 3月 12日 現在

【制定日】 平成 21年 12月 22日

【改訂日】 平成 30年 4月 1日

【改訂日】 令和 2年 2月 1日



### 3. 環境経営目標

| 環境経営目標                  | 基準年度                            | 中期目標                                   |                                        |                                        |
|-------------------------|---------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
|                         | 2018年度                          | 2023年度                                 | 2024年度                                 | 2025年度                                 |
| 本社事業所                   |                                 |                                        |                                        |                                        |
| 1. CO2排出量削減<br>①電力消費量削減 | 48,298kWh<br>(21,976kgCO2)      | 5%削減<br>45,883kWh<br>(20,877kgCO2)     | 6%削減<br>45,400kWh<br>(20,657kgCO2)     | 7%削減<br>44,917kWh<br>(20,437kgCO2)     |
| ②ガソリン使用量削減              | 29,686ℓ<br>(68,871kgCO2)        | 5%削減<br>28,202ℓ<br>(65,429kgCO2)       | 6%削減<br>27,905ℓ<br>(64,740kgCO2)       | 7%削減<br>27,608ℓ<br>(64,051kgCO2)       |
| 2. 廃棄物排出量<br>削減         | 3.82t                           | 5%削減<br>3.63t                          | 6%削減<br>3.59t                          | 7%削減<br>3.55t                          |
| 3. 水道使用量<br>削減          | (2019年度基準)<br>250m <sup>3</sup> | 5%削減<br>238m <sup>3</sup>              | 6%削減<br>235m <sup>3</sup>              | 7%削減<br>233m <sup>3</sup>              |
| 4. グリーン購入(エコペーパー等)      | 100%購入を目標とする                    | 100%購入を目標とする                           | 100%購入を目標とする                           | 100%購入を目標とする                           |
| 現場作業所                   |                                 |                                        |                                        |                                        |
| 1. CO2排出量削減<br>電力消費量削減  | 5,324kWh/億円<br>(2,422kgCO2/億円)  | 5%削減<br>5,058kWh/億円<br>(2,301kgCO2/億円) | 5%削減<br>5,058kWh/億円<br>(2,301kgCO2/億円) | 5%削減<br>5,058kWh/億円<br>(2,390kgCO2/億円) |
| 2. 廃棄物排出量<br>削減         | 237.1t/億円                       | 5%削減<br>225.2t/億円                      | 5%削減<br>225.2t/億円                      | 5%削減<br>225.2t/億円                      |
| 3. 水道使用量<br>削減          | 246m <sup>3</sup> /億円           | 5%削減<br>234m <sup>3</sup> /億円          | 5%削減<br>234m <sup>3</sup> /億円          | 5%削減<br>234m <sup>3</sup> /億円          |
| 4. 建設廃棄物の再資源化           | 100%を目指す                        | 100%を目指す                               | 100%を目指す                               | 100%を目指す                               |
| 5. エコ材料の購入              | 90%以上の購入を目標とする                  | 90%以上の購入を目標とする                         | 90%以上の購入を目標とする                         | 90%以上の購入を目標とする                         |

二酸化炭素排出係数 ⇒0.455kg-CO2/kWhを使用する(東電エナジーパートナー2018年度調整後)

注)当社は、工事車両の保有は無く、下請の持込車両で行っています。したがって、ガソリンの使用量は工事部社員の通勤のみの使用量であり、本社で一括管理しています。又、軽油の使用量は少ないためとくに目標には設定しません。

注)本社においては、LPGの使用は主に湯沸しに使っており、使用量が少ないため特に目標には設定しません。

注)灯油は、本社及び現場作業所で使用しているが、季節的な要因もあり、数量も少ないので目標には設定しません。

注)現場作業所の実績値は、1億円以上の工事の数値をまとめました。

注)基準年度は2018年とした。但し、本社事業所の水使用量は目標値と実績値がかけ離れているため、2019年の基準に

注)事務用品は、原則的にグリーン商品を購入する。現場でのエコ材料とは、エコセメントや再生砕石 等 をいう。

## 4. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組

(本社事業所)

| 主要な環境経営計画の内容                                                                   | 取組み結果の評価(2023年度)                   |                                      |      |                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                | 年度目標                               | 実績                                   | 達成区分 | 問題・次年度取組                                                                         |
| <b>1. CO2削減</b><br>(電力使用量削減)<br>① 不要照明の消灯<br>② エアコンの温度管理<br>③ ウォームビズの励行        | 5%削減<br>45,883kWh<br>(20,877kgCO2) | 9.3%削減<br>43,788kWh<br>(19,924kgCO2) | ○    | ・ 目標は達成はした。<br>・ 次年度も継続して実施する。                                                   |
| (ガソリン使用量削減)<br>① 個人別使用量の管理<br>② アイドリングストップ<br>③ タイヤの空気圧及び溝の適正化<br>④ 軽自動車への乗り換え | 5%削減<br>28,20ℓ<br>(65,429kgCO2)    | 0.6%削減<br>29,508ℓ<br>(74,402kgCO2)   | ×    | ・ 目標は未達成。<br>・ 次年度は目標達成するよう継続して実施する。                                             |
| <b>2. 廃棄物排出量削減</b><br>① 廃棄物分別の徹底<br>② 廃棄物量の計測                                  | 5%削減<br>3.63t                      | 18.8%削減<br>3.10t                     | ○    | ・ ゴミ量の把握ができず、目標は達成した。<br>・ 次年度も目標達成するよう引き続き実施する。                                 |
| <b>3. 水道使用量削減</b><br>① 手洗い時の節水                                                 | 5%削減<br>238m <sup>3</sup> /億円      | 28.4%削減<br>179m <sup>3</sup>         | ○    | ・ 目標は大きく達成した。<br>・ コロナ感染拡大防止策ためお茶出しを中止した。<br>・ 目標と実績値の開きが大きいので今回から基準を2019年に修正した。 |
| <b>4. グリーン購入</b><br>(エコペーパー等)                                                  | エコペーパー購入100%を目指す。                  | 100%購入した。                            | ○    | ・ 目標達成<br>・ 次年度も継続して実施する。                                                        |

○： 目標達成

×： 目標未達成

(現場作業所)

| 主要な環境経営計画の内容                                                            | 取り組み結果の評価(2023年年度)                     |                                           |      |                                          |
|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------|------|------------------------------------------|
|                                                                         | 年度目標                                   | 実績                                        | 達成区分 | 問題・次年度取組                                 |
| <b>1. CO2削減</b><br>(電力使用量削減)<br>① 不要照明の消灯<br>② エアコンの温度管理<br>③ ウォームビズの励行 | 5%削減<br>5,058kWh/億円<br>(2,301kgCO2/億円) | 78.3%削減<br>1,155kWh/億円<br>(525.5kgCO2/億円) | ○    | ・ 目標達成<br>・ 現場によって電気使用量に差が有るため比較が難しい。    |
| <b>2. 廃棄物排出量削減</b><br>① 廃棄物分別の徹底<br>② 廃棄物量の計測                           | 5%削減<br>225.2t/億円                      | 77.0%削減<br>54.5t/億円                       | ○    | ・ 目標達成<br>・ 受注量に左右されるため目標設定が難しく、正確さに欠ける。 |
| <b>3. 水道使用量削減</b><br>① 手洗い時の節水                                          | 5%削減<br>234m <sup>3</sup> /億円          | 83.3%削減<br>41.1m <sup>3</sup> /億円         | ○    | ・ 5現場だけの測定資料しかなく、正確さに欠ける。                |
| <b>4. 建設産業廃棄物の再資源化</b><br>(再生資源化工場へ100%持ち込む)                            | 100%を目指す                               | 100%再資源化をした。                              | ○    | ・ 目標達成<br>・ 次年度も実行する。                    |
| <b>5. エコ材料の購入</b><br>(エコメント・再生砕石等)                                      | エコ材料の90%以上購入を目指す。                      | エコ材料を100%購入した。                            | ○    | ・ 目標達成<br>・ 次年度も実行する。                    |

○：目標達成

×：目標未達成

## 5. 環境負荷の状況

| 環境への負荷            | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度  | (単位)           |
|-------------------|---------|---------|---------|----------------|
| ① 温室効果ガス排出量       | 100,390 | 111,934 | 109,039 | kg-CO2         |
| ② 産業廃棄物排出量及び再資源化率 | 6,353.0 | 7,220.0 | 1,277.0 | 排出量(t)         |
|                   | 100     | 100     | 100     | 再資源化率(%)       |
| ③ 水使用量            | 215     | 160     | 179     | m <sup>3</sup> |

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無

| 法 律 名           | 遵 守 状 況 |
|-----------------|---------|
| 廃 棄 物 処 理 法     | ○       |
| 労 働 安 全 衛 生 法   | ○       |
| 建 設 リ サ イ ク ル 法 | ○       |
| フ ロ ン 排 出 抑 制 法 | ○       |
| 騒 音 規 制 法       | ○       |
| 振 動 規 制 法       | ○       |

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し結果

### 1) 全体の評価

システムを通して定量の継続的な把握が来ているのは事務所の数値であり、現場の数値はその年の受注量に影響を受けるため現実的な数値管理ができていない。コロナ感染拡大防止対策の一環で、換気をしながらの冷暖房使用に加え記録的な猛暑の影響下での数値管理をしたため全体的に数値が高くなってしまっているものの、今後も経費削減に役立つ管理に到達するように、数値目標の設定等を継続して検討すること。3年又は5年ごとに、目標基準値の妥当性について検討・見直しをすること。現場からの数値把握がより正確なものになる様工夫検討するとともに、数値の算出方法も検討すること。

### 2) 今後の取組み

- ・朝礼又は部会を通してEA21の取組みについて更に推進する必要がある。
- ・現場における水道光熱使用量や廃棄物の排出量は施工内容によって大きく増減するため、目標設定においては引き続き良く検討して設定するとともに数値の算出方法も検討する必要がある。
- ・事務所及び現場の数値目標は、基準になる年度目標は今年度見直しをしたが、今後も実績値に基づき3～5年ごとの平均値を参考に設定し直すこと。
- ・施主や地域住民に対する環境の配慮をして、引き続き関連法規制の遵守に努めること。
- ・エコアクション21の実施を通して経費の削減につながる様に努力すること。又、ISO9001と合わせて取り組めるものは一緒に取り組む。